

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業		
事業担当	健康・こども部 保険年金課、健康課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第20条及び第24条、国民健康保険法第82条、国民健康保険条例第7条		
対象・受益者	平塚市国民健康保険被保険者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
被保険者の疾病（特に生活習慣病）予防、健康の保持増進が図られています。		糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群を減少させるため、被保険者に対して、より健康的な生活習慣への行動変容を促し、内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導を実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	特定健康診査実施率			単位	%
	説明・算定式	特定健康診査受診者数÷当該年度当初における40歳以上の国民健康保険加入者数×100(平成27年度実績値は確報値)				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	29.6	31.7	33.0		
活動指標②	指標名	特定保健指導実施率			単位	%
	説明・算定式	特定保健指導終了者数÷特定保健指導対象者数×100(平成27年度実績値は確報値)				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	8	13.4	16.8		
成果指標①	指標名	HbA1c6.5%(NGSP値)以上の対象者の改善率(平成25年度から)			単位	%
	説明・算定式	特定健康診査・特定保健指導実施計画(第2期)で設定(平成27年度実績値は確報値)				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	30.2	29.9	34.0		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	②：若干遅れている					
	遅れている理由	特定保健指導の必要性や効果が対象者に十分伝わらず、利用者の割合が少なかったため。				
平成27年度の主な取組と成果						
40歳以上の国民健康保険被保険者に特定健康診査・人間ドックを実施しました。特定健康診査等の結果のレベルに合わせた保健指導(情報提供、動機づけ支援、積極的支援)を実施しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	高齢者の医療の確保に関する法律第20条及び第24条、国民健康保険法第82条、国民健康保険条例第7条に基づく事務のため、保険者としての市の関与の必要性は高いと考えます。	● 高 ○ 低
	有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	高齢者の医療の確保に関する法律第20条及び第24条、国民健康保険法第82条、国民健康保険条例第7条に基づく事務であり、メタボリックシンドロームの予防という点からも有効性が高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	保険年金課、健康課が連携して事業を推進しており、業務の執行体制の面からも妥当性が高いと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性 <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	特定保健指導の実施は、一部で民間活力の活用(アウトソーシング)を行い、コストの削減、民間ノウハウの活用を図ります。	○ 高 ● 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 引き続き、特定健康診査の実施率及び特定保健指導の実施率を向上させるための取組みについて検討が必要と考えます。			

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導の実施	内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導の実施	内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導の実施
財源内訳	国庫支出金	28,942	33,260	32,673
	県支出金	28,942	33,260	33,336
	起債	0	0	0
	その他 特財	109,723	123,282	132,050
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		167,607	189,802	198,059
執行率 (%)		95.36	87.19	90.03

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 平成29年度の目標値である、特定健康診査の受診率35%及び特定保健指導の実施率27%を達成するため、実績向上のための各種方策を実施します。
<b>課長コメント</b> 実施率の低い働き盛り世代に重点を置いた取組を実施することが重要であると考えます。